

令和6年度 市木まちづくりセンターの主な取組

事業名

ミニ門松づくり

P

●事業実施に至った背景、目的

昨年まで開催していた寄せ植え教室で講師をお願いしていたお店が閉業した。
恒例で人気の事業であり、住民が集い交流を深める場となっていた。
地域の資源を活用し、活動を通して交流の場を作り、住民のやりがいや学びを大切にすること、また、住民同士のいつでも助け合える繋がりづくりを目的とした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

地域の方に講師をお願いし、資材などの調達や準備等協議
チラシ作成・配布

D

●事業の概要

日 時 令和6年12月14日(土) 9:30~11:30

場 所 市木生活改善センター

参加者数 10名

講 師 1名

内 容 地域内の資源を活用し、講師の方に教わりながら制作した。
孟宗竹に土を入れ、破竹3本、紅白葉ボタン、紅白南天、梅、松を差しして完成。
隣同士の方々と協力しながら作った。

C

●事業実施後の振り返り

初めての試みで、資源の準備もあったため、
参加人数の制限を設けた。
参加者からは、参加して良かった、楽しかった
という声も上がった。

今回、講師を地域の方にお願いし、資材の準備もしていただいたが、負担が大きかったと考えられる。

A

●令和7年度以降の方向性

地域住民が主となり活動ができるよう、また、負担がかからないようサポートしていきたい。

住民同士が交流を深める場となり、継続できるように住民の声を聞きながら事業を展開していきたい。

